

講習の名称	現代の政治や政策を理解するための論点整理	講習番号	D
開催日	平成25年8月21日(水)	定員	80名
主な受講対象者	小学校教諭、中学校社会教諭、高等学校公民教諭		
担当講師	羽田 亨(経済学部教授)、並河 仁(経済学部准教授)		
講習の概要	近年、選挙や社会保障といった国家の根幹をなしている制度の様々なほころびが露呈してきた。今後の選挙制度や社会保障制度は、どのような考えに基づいて、どのような仕組みで構築されていくべきか、国民は難しい判断を迫られている。そのため授業においても、生徒に対して多様な視点があることをふまえた指導を行い、主体的に考えることを学ばせることが重要になる。本講義では、私たちが直面する様々な政治・政策上の問題を取り上げて論点整理を行い、その一助とする。		
講習計画	09:30~10:30 (60分)	一票の格差 一票の格差問題の解消を制約している要因を検討し、「平等」と「代表」の意義を考えていきます。後半でグループ討議を行います。	
	10:30~10:40	休憩	
	10:40~11:40 (60分)	多数決と熟議 民主主義の基本である多数決と新たなあり方として期待される熟議、その意義と限界を考えていきます。後半でグループ討議を行います。	
	11:40~11:50	休憩	
	11:50~12:50 (60分)	マスメディアの影響 マスメディアの影響に関する理論を紹介し、授業での政治に関する話題の取り上げ方や、ニュースの読み方指導について考えていきます。	
	12:50~13:30	昼食休憩	
	13:30~14:40 (70分)	格差問題と社会保障制度 格差問題を是正するための政策手段である社会保障制度の問題点とそのあり方を、「公平性」と「効率性」とのバランスという視点から考えていきます。後半でグループ討議を行います。	
	14:40~14:50	休憩	
	14:50~16:00 (70分)	社会保障制度の持続可能性 社会保障制度における給付と負担の現状を説明し、制度の持続可能性を確保するためにはどのようなことが必要であるかについて考えていきます。後半でグループ討議を行います。	
	16:00~16:10	休憩	
	16:10~16:50 (40分)	試験 筆記試験を行います。	
16:50~17:00	事後評価アンケート		
成績評価の観点	1. 政治課題を一面的に捉えず様々な視点から考えることができるか 2. 1.をふまえた教育上の配慮や工夫を行うことができるか		
備考			